安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	一般国道48号　熊ヶ根橋（くまがねばし）拡幅・補強事業（直轄） 宮城県仙台（せんだい）市）

事業着手：平成12年度	完成・供用の目標年度：平成１７年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



事業の必要性」

一般国道48号の熊ヶ根橋は宮城県仙台市青葉区熊ヶ根地区の広瀬川を渡河する橋長１３８mの橋梁で、昭和２９年に供用開始されてから約５０年経過しています。近年の交通量の増大や通行車両の大型化により老朽化及び損傷が進行しているとともに、車道幅員は６．０mと狭小であり大型車同士の橋梁上でのすれ違いができず、交通機能を悪化させる要因となるとともに、狭幅員に起因する事故が度々発生するなど、交通安全面からも危険箇所となっており、早急な対策が求められていました。

事業の概要」

熊ヶ根橋拡幅・補強事業は老朽化した旧橋を活用（既存ストックの活用）しながら、全面的に補強し、さらに大型車同士がすれ違うことができるよう拡幅することで安全性・利便性の向上を図るものです。

▼熊ヶ根橋拡幅・補強工事状況







平成１７年度事業費及び事業内容

○事業費：200百万円
○平成17年度は橋梁本体の一部残された桁架設及び塗装を行い、最後に仮設材を撤去して工事を完了します。

事　業　効　果

○補強・拡幅により安全性及び信頼性が向上します。
○車道幅員が広くなることで、大型車のスムーズなすれ違いが可能となり、待機時間がなくなり利便性が向上します。
○歩道部と一体的な構造とすることですっきりとしたトラス構造となり、周辺地域の景観との調和が図られます。